

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年3月1日

事業所名 ぼうむくうへん

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		カームダウン室を設置している。	
	2 職員の配置数は適切である	○		パート職員を有効に活用して、日ごとの利用者数の変動に対応。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		事業所が1階にあり、段差がほとんどない。車いす対応のトイレの設置。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		日々のミーティングで行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		ニーズの多様化により柔軟に対応するためにも必要。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		日々のミーティング中に研修も行っている。文献の貸し出しを行う。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		変化をくみ取ることを意識。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		各利用者の興味のあることや、季節行事も組み入れている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日や長期休暇中は時間が長くなるので、お出かけや調理等普段できないプログラムを組み合わせようとしている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		学校や家庭での過ごし方に関連することを意識して作成している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		各利用者の個別対応での打ち合わせに重きを置いている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終了時にゆっくり打ち合わせができない場合、翌日等に振り返りを行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日報に必ず記録を残し、何かあれば、次回どのようにすべきかも明確	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		終了時にゆっくり打ち合わせができない場合、翌日等に振り返りを行っている。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		日報に必ず記録を残し、何かあれば、次回どのようにすべきかも明記		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現状該当児童なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		一事業所だけではできないことの 限度があるので、必要時にできる だけ他機関と連絡をしている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		参加後、内容を各職員へフィードバックしている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		直接話す機会がなかなか取れない場合は、LINEや連絡帳も活用している。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		近日中に研修にて取り上げる予定。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者が言い出しにくかったり、 つかみ切れていなかったりすること をくみ取れるよう、当事業所での 様子を交えながら話している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナが落ち着いてきたので、GW期間あたりに検討中。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		より客観的な視点での対応も必要な場合があるので、その場合は外部機関とも連携して対応する。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		プライバシーに配慮して活動を写真に撮って、保護者に見せることもしている。	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		BCP作成中。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		設問8に準ずる。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		現状該当児童がいないため、組織的に決められていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に書面に記載してもらい、それを各職員間で共有している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		日報内で詳しく記載して職員間で共有している。	